

地区行動指針：「感謝と挑戦」

クラブスローガン：「感謝と誇り」～胸躍る未来へ～

**国際ロータリー第 2790 地区  
第 3 分区 A**

**千葉西ロータリークラブ**

**WEEKLY COMMUNICATION**

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日  
 会長 遠藤 平 幹事 前野 拓郎  
 例会場 千葉スカイウィンドウズ 東天紅 センシティタワー23階  
 TEL 043-238-5555  
 例会日 毎週火曜日 12:30～  
 事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階  
 TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522  
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp  
 URL : http://www.chibawest-rc.net/

■ 会長挨拶 / 遠藤 平 会長

猛暑に喘いだ8月も残すところあと1日、朝夕吹く風に秋の訪れを感じる今日この頃でございます。季節の変わり目、くれぐれもご自愛ください。

10日前、第31回近代オリンピアド リオデジャネイロ大会が大きな事故、事件も無く閉幕いたしました。日本選手団も各種競技で力を発揮して史上最多の金、銀、銅あわせて41個のメダルを獲得した事は記憶に新しいところであります。その中でも女子バトミントンのタカマツペアの活躍によりバトミントンの羽(シャトル)には、本物の鳥の羽が使われている事を知りました。競技用の高級シャトルの原料は、ガチョウの羽だそうです。一本のシャトルには16本の羽が使われますが、ガチョウ一羽からは14本の羽しか取れないことをヨネックスのシャトル製造部長・長谷川慎さんのインタビュー番組から学ぶことが出来ました。番組中、この道26年、一つひとつ微妙に曲がっている羽を揃えてコルクに植え、手作業で微調整を繰り返し、手と目、人の五感と経験がものいう検査を経て市場に出されます。「ちゃんと育った検査員の目と指先は、宝です」と長谷川部長は語られました。最後に頼りになるのは、今も昔も人の力なのでしょう。我が千葉西ロータリークラブにおきましても、最後に頼りになるのは人の五感と豊富な経験に裏打ちされたクラブの宝であります。第42代会長を始めとする諸先輩皆様からのご助言であります。

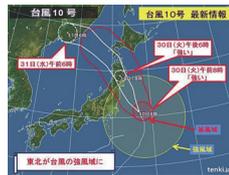
第42代会長として、言行に細心の注意を払い職務を遂行してまいり所存であります。一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



■ 四つのテスト / 木村 龍次 会員

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか



■ お客様

藤代 謙 二 様 (元副市長 ゲストスピーカー)

■ 千葉いのちの電話へ支援金贈呈

社会福祉法人千葉いのちの電話 友田 直人 様



■ 委員会報告

国際奉仕委員会

8月6日～9日に行われた台湾高雄北区 RC との子弟交流受け入れでは、4日間無事に行事をこなし帰国されました。ホストとして子供たちを迎えて頂きました遠藤会長、大森会長エレクト、西川会員誠にありがとうございました。本人たちは役に立っていませんでしたが、ホストファミリーの方がとても親身になってお世話下さいました。多数の会員のご参加によって終えることが出来ました。ありがとうございました。

■ ゲストスピーカー 元副市長 藤代 謙 二 氏

「副市長時代のよもやま話」



宮内三朗 元市長 荒木和成 元市長 松井 旭 元市長 鶴岡啓一 元市長 熊谷俊人 市長

